

令和3年度第1回横浜市保健医療協議会会議録（要約版）	
日 時	令和3年8月30日（月）19時00分～20時13分
開催場所	オンライン開催／横浜市庁舎会議室「みなと1・2・3」
出席者	石川ベンジャミン光一委員、叶谷由佳委員、小林理英委員、鶴本明久委員、伏見清秀委員、宮城悦子委員、宮地英雄委員、佐伯隆史委員、坂本悟委員、中村香織委員、中村雅一委員、新納憲司委員、濱崎登代子委員、水野恭一委員、溝呂木啓之委員、守分光代委員、山口道宏委員、吉田直人委員
欠席者	白川敏雄委員、八亀忠勝委員
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>1 議題</p> <p>（1）よこはま保健医療プラン2018の単年度振り返り及び中間振り返りについて <span style="float:right">【資料1】</span></p> <p>（2）令和3年度病床整備事前協議について <span style="float:right">【資料2】</span></p> <p>2 報告</p> <p>（1）こどもホスピスについて <span style="float:right">【資料3】</span></p> <p>（2）第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（よこはま地域包括ケア計画）の策定について <span style="float:right">【資料4】</span></p>
決定事項	<p>1 令和3年度病床整備事前協議の対象とします。</p> <p>2 病床整備検討部会を設置します。</p>
議 事	<p>1 開会（定足数と傍聴人の報告、局長あいさつ、委員紹介）</p> <p>2 議題</p> <p>（1）よこはま保健医療プラン2018の単年度振り返り及び中間振り返りについて（事務局山本課長）〔議題（1）について説明〕</p> <p>（伏見会長）ただいまの事務局からの説明についてご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。</p> <p>（叶谷委員）重症心身障害児・者のための多機能型拠点の整備に関して、目標を達成しなかったということをおっしゃっていましたが、施設を一からつくるのは大変ですけれども、他県では高齢者の看護小規模多機能型を共生型でやるような事例もあるようです。新たに用地を選定して、施設を一からつくることももちろん検討いただきたいと思いますが、既にある看護小規模多機能型を共生型へ、ということも検討していただければと思います。</p> <p>（事務局健康福祉局高橋課長）重症心身障害児・者のための多機能型拠点は、医療的ケアを必要とする重症心身障害児・者等とその家族の地域での暮らしを支援するための施設で、市内方面別に最終的には6か所整備する予定です。よこはま保健医療プラン2018では、2020年度時点で6か所全ての整備が完了する目標設定となっていました。現在、4か所目の設置箇所、設置・運営法人が決定したところまでと</p>

なっており、5か所目、6か所目の整備に着手することができませんでした。原因としましては、用地・候補地の選定に難航していることがあります。

用地選定の主な要件は、標準の施設規模として延床約1,350平米を低層で整備できる面積を備えていること、ご利用者様の通所は車両による送迎が主になっていますので、接続する道路幅員にも条件があること、また、津波等に対して即座に全員が避難することは難しいことから、一定以上の海拔に立地すること等、いくつかの条件があります。

ご提案いただきましたような多様な手法により、用地の確保を図り、整備事業を推進してまいります。なお、4か所目は港北区菊名を設置箇所として選定済みであり、今年度は建物の設計を進めていく予定です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

(叶谷委員) ニーズが増えてくるので、いろいろな方向で検討いただければと思います。

(伏見会長) ほかにご意見・ご質問等がありますでしょうか。

(委員) [意見なし]

(2) 令和3年度病床整備事前協議について

(事務局医療局高橋課長) [議題(2)について説明]

(伏見会長) ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問がありましたら、よろしくをお願いします。

(水野副会長) 病床整備の考え方は説明のとおりでよいと思いますが、本日の資料によると、まだ完成していない病床が647床あり、今年度は464床の余りが出ているということで、両方合わせれば1100床程度になります。整備できていない647床の病床は一体いつ整備できるのか、また、病床整備検討部会で今後選ばれる病床はいつ整備できるのか。これまでの647床がまだ整備できていない原因をつかんでいかなければいけないと思います。

コロナ禍の後、不景気と受診抑制がまだ続いていくと考えられます。その中で、本当に1100床整備できるのかどうか、あるいは、いつまでに整備できるのかというところを見据えて、場合によっては許可を取り消す、またはもう1回再提出させるということが大事なのではないかと思います。

最大の問題は、景気の状態と人材不足です。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、看護師の募集に関して非常に苦勞しております。このような状況で、1100床以上もの病床ができた場合、人材確保はどうするのかと。あるいは、病床を整備する法人に対して、手当てが本当にできているのかどうかというのを病床整備検討部会でしっかりと考えてやっていかないといけないと思います。

(事務局医療局高橋課長) ご指摘いただきましたように、資料2の3-2に稼働準備中の病床の開設予定を示しております。2021年度から2026年度までに、段階的に

稼働する予定になっております。各病院には、計画が遅れそうなときは横浜市に報告するように求めており、しっかりとこちらで審査して、正当な理由であると認められたものについては、計画の変更という形で認めています。こういったことについても、今後はその都度報告していきたいと考えております。

(水野副会長) ありがとうございます。予定よりも2年以上遅れるのは正当な理由であるのかどうかということも検討し直さないといけないのでは。最初の見込みが甘かったというのもあると思います。基準がありますので、そういったところは厳しくやっていただかないと、今後ますます積み残しと計算上の不足が出てきて、全面的な影響が出てきてしまうと思います。

(伏見会長) ありがとうございます。ほかにご意見・ご質問等はありませんか。

(濱崎委員) 看護職員の不足について触れたいと思います。補足資料の中で、就業看護職員数の推移のグラフがあります。これは有資格者の就職数が県内でも徐々に増加しているというようなグラフで大変喜ばしいことではありますが、一方で、看護補助者や介護職員については現在でも枯渇感があります。看護補助者や介護職員がどれほど不足しているのかというデータはなかなか出てこないという状況です。お給料に関しても様々な状況があり、派遣会社に引き抜かれるなど、派遣会社を頼らざるを得ない状況もあります。看護補助者や介護職員の確保、人材育成についてもあわせてご検討いただきながら、病床整備を進めていただきたいと思います。

(事務局戸倉副局長) 委員からご指摘がございましたように、看護師の不足については、医療行政上、病床整備を進める上でも、また、既存の病院が安定的な運営をするためにも、さらなる取組を神奈川県とも連携してしっかり進める必要があると考えております。その一方で、昨今、非常に看護師の業務範囲が広いことについて、平成18年以降、厚労省から医師等の負担軽減ということで、医師の負担軽減については医師事務作業補助者を中心に、看護師の負担軽減については看護補助者の育成・配置といった動きがあります。医療業界では、こうした新たな2つのサポート役の育成に関する取組が2年に1回の診療報酬改定でも評価されるようになってきております。

しかし、ご指摘のように、行政側としては、医師事務作業補助者・看護補助者については、各病院のご努力によって必要な人数を確保していただいている状況です。実際に新たに病床をつくるとなれば、1つの病棟で看護補助者は2人から3人、3交代の夜勤も考えますと、やはり10人以上必要になるのではないかと思います。ただ、みなし看護補助者という計算方法があり、実際には各病院とも1つの病棟で2人から3人の看護補助者の配置で何とか乗り切っていただいている状況だと思えます。

横浜市において、看護補助者育成の重要性はこれからますます高まってくると思います。行政としてもしっかり現場の意見を聞きながら、新たな取組についても始める必要があると認識しております。今後、そうした点についてぜひご意見を賜れ

ばありがたいと思っています。

(濱崎委員) ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(伏見会長) ほかにご意見等がありますか。様々なご意見をいただきましたが、明確な反対意見はなかったと理解しています。よろしいでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) それでは、横浜地域では4月1日時点で既存病床数が基準病床数を下回っているということですので、当協議会として令和3年度は病床整備事前協議の対象とするべきであるという意見を横浜市長へ報告することにしたいと思います。

続きまして、病床整備検討部会の設置が必要となります。当協議会運営要綱第7条第2項及び第4項では、部会の構成員及び部会長は会長が指名することとなっております。まず、部会長については、前回の経験を踏まえまして石川委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。石川委員、よろしいでしょうか。

(石川委員) 謹んで承りたいと思います。

(伏見会長) どうもありがとうございます。それでは石川委員、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、部会については原則公開となりますが、当協議会運営要綱第8条により、委員の承諾があれば、会議の全部を非公開とすることができます。公開することで、率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあることや、特定の医療機関に不利益を及ぼすおそれのある情報を取り扱うことから、こちらについては非公開の扱いとさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) それでは、今年度の部会については非公開とさせていただきます。

続きまして、部会の構成員について、事務局から提案をお願いします。

(事務局医療局高橋課長) 医療関係団体や有識者など、部会長を含めた7名程度にしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(伏見会長) それでは、部会長以外の構成員6名については会長に一任いただくということで進めさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) では、石川部会長と相談し、選任させていただき、了承が得られましたら別途ご報告いたします。

### 3 報告

(1) こどもホスピスについて

(事務局藤田係長) [報告(1)について説明]

(伏見会長) ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

(委員) [意見なし]

(2) 第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画(よこはま地域包括ケア計画)の策定について

(事務局鳥居課長) [報告(2)について説明]

(伏見会長) ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

(水野副会長) 第8期計画基本目標の施策体系に関して、介護職の人材不足が一番の問題ではないかと思えます。深刻なのは、応募者が少ないために大学や短大、専門学校でも介護学科をやめていってしまうこと。今後、高齢者が増えて介護ニーズが高まっていく中で、介護職員の必要数に対して、一体どれだけの養成ができるのか。あるいは、外国人労働力もありますが、横浜市での外国人介護職の養成者数は年間100人程度と足りていない状況です。

介護職の給料に関しても、国でも様々な支援を考えていますが、追いついていない状況です。介護職の定着に関しても非常に問題がありますし、介護職を希望する人が足りていない状況において、横浜市として何か考えがあるのかをお聞きしたいと思えます。

(事務局鳥居課長) 第8期計画の中で、国の推計値をもとに、今後どれくらい介護人材が不足していくのか、あくまで2025年の推計ではありますが、横浜市内でも約6,500人の介護人材不足が想定されるという状況です。

横浜市としては、先ほどお話にもありましたように、海外からの外国人人材を何とか確保できないかという取組を引き続き実施しております。一方で、コロナ禍により、海外から人材がなかなか入ってこないという状況もあり、国内にいる外国人から介護人材を何とか確保できないかという取組を進めています。あわせて、初任者研修や資格を取ろう、働こうといった方々への支援について、研修費用の助成など、様々な形で行っています。

介護だけではなく様々な場面で人材が不足している中で、今後、介護ロボットやICT化の推進等により人材不足を補っていくなど、様々な取組を総合的に組み合わせながら推進してまいりたいと思っております。また、民間事業者への様々な支援についても研究させていただきながら取組を推進してまいりたいと考えております。

(水野副会長) ありがとうございます。特に、今後在宅医療において24時間対応の巡回介護などをやっていく上で、ある程度経験のある人材が必要です。在宅を見守る上で、本当に質の高いものを提供していくのであれば、養成するために年数がかかるということも認識して、ただ数だけの問題ではなく、中身をつくるためには経験年数が必要になってきます。

また、市長が交代しましたが、横浜市ではまだ施設自体をつくる予定ですか。特

	<p>養を1つつくると、そこには必ず施設の基準の人数が要ります。おおよそ我々の計算では、法的な人数の1.3倍ぐらいの介護職がいないととても回りません。それだけの人材が必要ですので、施設を1つつくると市全体での人材不足に拍車がかかるといことがあります。つくってはいけないというのではなく、優先順位を考え、本当に質のいい介護を提供するためには、それなりの育成と時間がかかることを考えてやっていただきたいと思います。</p> <p>(事務局鳥居課長) ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり、人数だけでなく質の確保も大きな課題と認識しております。特養整備につきましても年間600床ということで整備を進めてまいりましたが、新市長の下、どういう考え方でこれから進めていくのかについては、質・量も含めて課題と認識しておりますので、いただいたご意見も踏まえて検討していきたいと思っております。</p> <p>(伏見会長) ほかにご意見・ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>(委員) [意見なし]</p> <p>4 その他</p> <p>(事務局山本課長) 次回の保健医療協議会の開催は、来年2月頃を予定しております。</p> <p>5 閉会</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 : よこはま保健医療プラン2018 2020年度単年度振り返り及び中間振り返りについて</li> <li>・資料2 : 令和3年度病床整備事前協議について</li> <li>・資料3 : こどもホスピス(在宅療養児等生活支援施設)支援事業について</li> <li>・資料4 : 第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画(よこはま地域包括ケア計画)の策定について</li> <li>・参考資料1 : 横浜市保健医療協議会運営要綱</li> <li>・参考資料2 : 横浜市の保有する情報の公開に関する条例(一部抜粋)</li> <li>・参考資料3-1 : よこはま保健医療プラン2018【概要版】</li> <li>・参考資料3-2 : よこはま保健医療プラン2018振り返り評価シート</li> <li>・参考資料4 : 第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画(よこはま地域包括ケア計画)【概要版】</li> </ul>